



プリエンブティブの勧め、最近の試合から

2016.5.13

先日の横浜インビテーションであったことですが、ボスバルのディーラーのWに居て ♠J10987654♥-♦9742♣8 が来ました。皆さんならどうしますか？私なら迷うことなく 4 S オープンします。昔からプリエンブはルールオブ2アンド3に従うとされてきて、今でも忠実にこれを守っている人がたくさん居ます。この法則に従うとこのハンドは S 3、D 3、C 1 の 7 ルーザーあり、プレイングトリックはスペードの 5 トリックだけになりますから、あきらかに大きく外れたビッドということになりますね！でも待つてください。まずスペードは 8 枚ありますから、残りはどのようなディストリビューションが期待できるでしょうか？ 2-2-1、3-2-0、3-1-1、4-1-0 などですが、いちばんありそうな 2-2-1 ならトランプは 2 ルーザーです。ということは 6 プレイングトリックということになります。C 1 はどうしようもありませんが、ダイヤモンドは x4 枚あり、パートナーが短くてトランプを持っているならルーザー数は 1 かよければ 2 減りそうです。ということは全体で 5 ルーザーくらいは期待しても罪は重くないということです。そして何より絵札が SJ しかないということです。このハンドはもしディフェンスに回ったなら 1 トリックも取れませんね！しかし自分がスペードでプレイすれば 6 トリックは取れそうです。つまりオフェンシブハンドということになります。実はこれが大事なことで、プリエンブティブ、意味は先制するということですが、オフェンシブハンドであることを最大限利用することです。現代はシステムやコンベンションが発達して非常に精密にコントラクトが見いだされるようになってきたのですが、それへの反語としてのプリエンブティブビッドが発達し、ますます有効になってきています。特に力量が下位のプレイヤーが上位のプレイヤーに対抗するときに極めて有効です。ただ普通に対戦しただけではやられてしまうことになりやすから、プリエンブティブビッドをしかければ、上位のプレイヤーでさえも困りゲスを強いられて間違えることがあるのですから。ルールオブ2アンド3などに縛られずに思い切ったプリエンブティブオープンあるいはオーバーコールをしましょう。ここでプリエンブの原則を解説しておきましょう。いちばん考慮に入れることはバルネラビリティです。プリエンブティブに 1 番適さないときは自分たちバル相手ノンバルです。逆に自分たちノンバル相手バルは最適なときです。プリエンブの特徴は、パートナーを無視して自分一人だけで一気にあるレベルまでのコントラクトをビッドすることです。どのレベルまで行くかを決めたら一気になければ効果がありません。二度三度に別けては効果がありません。二度三度に別けるという意味は、あるレベルでオーバーコールし相手が競ってきたらさらに 1 つ上のレベルでまた競るといったビッドをすることです。競ると決めたレベルまで最初に一気に上がらねばいけません。もう一つプリエンブティブオープンで考えるのはどのポジションにいるかということです。1 番適しているのはサードハンド、次いでファーストハンドです。フォースハンドはほとんど意味がありませんし、セカンドハンドもあまり適して

いません。

さて話は戻って冒頭に出たハンドの全体はこのようになっていました：

Both Vul Dealer W

♠ A		♠ Q32			
♥ KQJ97		♥ 86543			
♦ K8		♦ A			
♣ QJ1076		♣ AK94			
♠ J10987654	<table style="margin: 0 auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 5px;">N</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">W E</td></tr> <tr><td style="padding: 5px;">S</td></tr> </table>	N	W E	S	♠ K
N					
W E					
S					
♥ -		♥ A102			
♦ 9742		♦ QJ10653			
♣ 8		♣ 532			

実際スペード AK が抜けていますが、スペード 1-1 なので 1 ルーザーだけで 6 スペードが EW でメークします。トランプの AK が抜けているスラムという珍しいハンドでした。全体 2 4 テーブルでスペードコントラクトは 6 テーブルだけであとは NS 側のハートかダイヤモンドコントラクトでした。このゲームにはプロも多く参加していましたが、6 S はわずかに 1 テーブルだけでした。W が 4 S オープンすると N ダブルで E に回ってくると、E から見るとマイナーにルーザーがなさそうですし、自分が持っているハートが 5 枚なのでオープナーはハートボイドが期待できそうですので 6 S とビッドしそうです。6 S への到達は 4 S オープンがないと困難でしょう。ただし NS 側が押し上げた場合は別ですが。この結果を見て言えることは、日本のプロもあまり激しいプリエンブティブを使う人は多くないということでしょう。ということはプロに対戦する機会があればできるだけプリエンブティブするのがよいとも言えそうです。

なお冒頭のハンドの詳細な結果は次の通りでした

4HbyN+6	1
4HbyN+4	7
5HXbyN-1	6
5DbyS-2	1
5CXbyN-2	1
4SbyW+6	3
5DXbyS-3	1
5SXbyW+5	1
5HXbyN-4	1
6SbyW+6	1
5SXXbyW+6	1